

東急電鉄初！資産活用コンサルティングにより大学専用学生寮を誘致 東京工業大学の留学生混在型学生寮「南品川ハウス」が3月30日に竣工

～東急グループと大学との連携による学生寮の整備を展開～

東急グループ

東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)は、これまで培ってきた街づくりのノウハウや東急グループ各社の強みを生かし、資産価値向上・課題解決に向けたさまざまな施策をワンストップで提案する資産活用のコンサルティング(以下、本サービス)を展開しています。

今般、本サービス初の大学専用学生寮となる、東京工業大学(以下、東工大)の外国人留学生混在型学生寮「南品川ハウス」(以下、本物件)が、3月30日に竣工します。

本物件は、地元地権者からの「地域に活気を与える施設を誘致したい」という要望と、東急線沿線に拠点を構える東工大の「地方学生や外国人留学生を迎え入れたい」という要望をもとに、東急電鉄がコンサルティングを行い、地元地権者からマスターリースを受け、東工大に貸し出す仕組みで実現します。また、東急グループ各社が、一体で運営に関するサービス提供を行います。

本物件は、最大165名の日本人学生と外国人留学生が共同で生活する学生寮です。大井町駅から徒歩11分と都心や羽田空港からアクセスしやすく、閑静な住宅街周辺で、学生が暮らしやすいエリアに位置します。施設内は、3つの個室と共用部から構成されるユニット形式とすることで、多様な文化の中での国際感覚の育成とプライベート確保を両立するなど、学生が安心して暮らせる施設を目指します。また、混在型学生寮の誘致に伴い、若年世代や国際色豊かな人々の流入により、沿線の多様性を高めるとともに、地域活性化を図ります。

なお、全国約41,000戸の学生マンション・寮の運営ノウハウを持つ株式会社学生情報センターが管理運営を行うほか、建物管理を東急ファシリティサービス株式会社、電力供給を株式会社東急パワーサプライがそれぞれ受託するなど、東急グループが一体で運営し、継続的な物件の維持・価値向上を目指します。

少子高齢化に伴い、各大学は地方学生や外国人留学生を迎え入れるための施策を検討しており、更なる学生寮の設置ニーズが見込まれます。東急グループは、沿線の各大学と連携を図り、ニーズを把握するとともに、グループ各社による運営サポート体制を強みとして、学生寮の提案をより積極的に進めます。

今後も、街づくりのノウハウやグループ各社の強みを生かしたコンサルティング事業を通して、地域のまちづくりと協同し、沿線における都市機能の多様化と、さらなる沿線価値の向上に取り組んでいきます。

本物件の詳細は別紙のとおりです。



▲外観イメージ



▲1階中庭イメージ

以上

【別紙】

■本物件の概要

○所在地	東京都品川区南品川六丁目5番18号(住居表示)
○延床面積	3,525.87㎡
○構造・規模	鉄筋コンクリート造5階建
○用途	学生寮(男子寮/日本人学生・留学生混住型)
○竣工	2018年3月30日
○コンサルティング	東京急行電鉄株式会社
○貸主	東京急行電鉄株式会社
○借主	国立大学法人東京工業大学
○設計	京王建設株式会社一級建築士
○施工	京王建設株式会社
○管理運営	株式会社学生情報センター
○建物管理	東急ファンリティーサービス株式会社
○電力供給	株式会社東急パワーサプライ



▲位置図



▲ユニットイメージ

■東京工業大学

東京工業大学は、文部科学省が日本の高等教育の国際競争力の向上を目的として創設したスーパーグローバル大学創生支援事業において、「トップ型」として採択を受けています。2016年に新しい教育システムをスタートさせ、「日本の東工大から、世界のTokyo Techへ」というスローガンのもと、多様性を重視した教育を充実させる取り組みを行っています。

東急電鉄と東工大は、たまプラーザ駅周辺地区におけるスマートコミュニティ推進や、大岡山駅における健康啓発ポスターの共同作成など、連携して様々な取り組みを実施しています。

(参考)

■東急電鉄の資産活用コンサルティング

創業以来、一貫して沿線価値向上に取り組んできた東急電鉄が、その街づくりのノウハウを生かし、資産活用をお手伝いするサービスです。専任のコンサルタントが、東急グループのあらゆるビジネス領域の企業を一手に束ね、資産価値向上・課題解決に向けた多彩な施策をワンストップで提案します。東急電鉄の資産活用コンサルティングなら、あなたのお悩みを解決する答えがきっと見つかります。

(ホームページ: <https://www.tokyu-shisan.com/>)